

平成 30 年 6 月 11 日現在

機関番号：13601

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2015～2017

課題番号：15K13177

研究課題名(和文)エビデンスに基づく政策形成・評価に資する教育政策情報のアーカイブ化に関する研究

研究課題名(英文) Archiving "Documentary Records" and "Oral Records" for Evidence-Based Policy formation and evaluation based

研究代表者

荒井 英治郎 (ARAI, Eijiro)

信州大学・学術研究院総合人間科学系・准教授

研究者番号：60548006

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、「文書記録」と「口述記録」という2つのリソースを教育分野の政策形成・政策評価に必要不可欠な「教育政策情報」と位置づけた上で、体系的整理とアーカイブ化を行い、実証的な教育政策研究の進展に資する基盤を整備していく作業を行った。

第1に、「文書記録」のアーカイブ化として、国立教育政策研究所所蔵の「戦後教育行政通知文書写綴」と「臨時教育審議会関係資料」の目録を作成した。

第2に、「口述記録」のアーカイブ化として、元文部(科学)省関係者に対する継続的なヒアリングを行い、オーラル・ヒストリーとして再構成した。

研究成果の概要(英文)：This research object is to develop infrastructure by organizing and archiving systematically educational policy information. This research collected and archived two types of record. One is a documentary record on educational policy and administration in post war Japan, and a Documentary record on National Council on Educational Reform Government of Japan that belongs in National Institute for Educational Policy Research. Second is oral records obtained by oral history method.

研究分野：教育政策研究

キーワード：エビデンス 政策形成・評価 教育政策情報 アーカイブ オーラル・ヒストリー 戦後教育行政通知文書 臨時教育審議会

1. 研究開始当初の背景

教育行政においても、「エビデンスに基づいた政策形成」(Evidence-Based Policy-Making)の必要性が謳われて久しく、学問的にもエビデンス論の台頭が著しい。しかし、その種の議論の中心は新規政策や教育投資に有意な情報をいかに収集・提示していくことができるかといった即時的観点に傾斜していることが多く、既存政策に対する政策評価をいかなる観点で行うか、いかなるエビデンスやアーカイブスがどのように将来的な政策過程(課題設定・政策形成・政策決定・政策評価)の改善に資することができるのかなど、エビデンスの整理・編集・共有化といったアーカイブの方法、エビデンスの信頼性と政策の持続可能性の関係をめぐる議論が積極的に展開されているとは言い難い。時には、「政策に基づいたエビデンス形成」(Policy-Based Evidence-Making)の様相を呈する議論状況も散見される中、採用すべき政策の存在を前提とした上で、それを支持するエビデンスを探し回るようでは本末転倒である。

そこで、本研究では、主に「文書記録」と「口述記録」という2つのリソースを教育分野の政策形成・政策評価に必要な「教育政策情報」と位置づけた上で、体系的整理とアーカイブ化を行い、実証的な教育政策研究の進展に資する基盤を整備していく作業を行った。

2. 研究の目的

本研究の目的は、「文書記録」と「口述記録」という2つのリソースを教育分野の政策形成・政策評価に必要な「教育政策情報」と位置づけた上で、体系的整理とアーカイブ化を行い、実証的な教育政策研究の進展に資する基盤を整備していくことである。

3. 研究の方法

本研究では、「文書記録」と「口述記録」を体系的にアーカイブ化していく方法を採用した。

(1)「文書記録」の体系的整理とアーカイブ化

本研究では、新たに発掘・発見されながらも未公開・未整理であった国立教育政策研究所所蔵の史資料のうち、戦後教育行政の実務に関する通知文書(戦後教育行政通知文書写綴)と臨時教育審議会関係資料の体系的整理とアーカイブ化を行った。

(2)「口述記録」の体系的整理とアーカイブ化

本研究では、戦後教育政策の政策過程に関与した行政アクターに対するヒアリング調査を継続的に実施し、「オーラル・ヒストリー」として再構成した。

本研究が依拠する「オーラル・ヒストリー」とは、不可視である当事者の「記憶」を可視化された「記録」へと変換し、歴史的文脈に位置付けていく研究方法である。文部(科学)省の組織編成と行政運営等の実態は他省庁に比べて不明確な点が多く、政策形成の実相を解明する実証的な政策研究の必要性が指摘されている。これに対して、本研究方法の特徴は、政策形成の中核を担うアクターの認識構造に焦点を当てながら政策過程の規定要因を究明し、個人史から全体史への再構築を企図するものである。

4. 研究成果

(1)「文書記録」のアーカイブ化

新たに発掘・発見されながらも未公開・未整理であった国立教育政策研究所所蔵の史資料のうち、「戦後教育行政通知文書写綴」と「臨時教育審議会関係資料」の目録を作成した。

その 1 に、「戦後教育行政通知文書写綴」は、文部省大臣官房総務課往復係記録班が昭和 20 年 8 月から昭和 25 年 9 月における教育行政関連の文書をとりとまとめた「通達綴・文書回報」であり、現在閲覧可能な資料の状況を踏まえてこのたび目録化の作業を行った。文部省を発着地・経由地とする戦後教育行政の行政実務の一端を示す当該史資料群は、戦後（教育）史像の相対化・刷新の可能性をも秘めたものである。

今回アーカイブ化と体系的整理を行った「戦後教育行政通知文書写綴」は、文部省大臣官房総務課往復係記録班がとりまとめた「通達綴・文書回報」、全 8679 点の目録である。

その 2 に、昭和 59 年に公布された臨時教育審議会設置法（昭和 59 年 8 月 8 日法律第 65 号）に基づき総理府に設置された臨時教育審議会は、内閣総理大臣の諮問に応じて調査審議を行うことを所掌事務とした行政機関である。審議会の運営に際しては、総会のほか、「二十一世紀を展望した教育の在り方」（第一部会）、「社会の教育諸機能の活性化」（第二部会）、「初等中等教育の改革」（第三部会）、「高等教育の改革」（第四部会）を議論する部会が設けられ、委員に専門委員を加えた形で審議が行われた。当該目録は、元文部事務次官で、臨教審第一部会専門委員を務めていた木田宏氏が国立教育研究所に寄贈した資料を目録化したものである。

今回アーカイブ化と体系的整理を行った『臨時教育審議会関係資料目録』は、元文部事務次官で、臨教審第一部会専門委員を務めていた木田宏氏が国立教育研究所に寄贈した臨時教育審議会関係の資料、全 1938 点（31 ボックス、102 フォルダ）の目録である。

上記の「資料」は、国立教育政策研究所教育図書館に現在所蔵されており、閲覧が可能である。

(2)「口述記録」のアーカイブ化

戦後教育政策に関与したアクターのうち、元文部科学事務次官の銭谷眞美氏に対する継続的なヒアリングを全 20 回実施し、「オーラル・ヒストリー」として再構成した。

1949 年秋田県生まれの銭谷氏は、1973 年の文部省入省後、大学学術局国際学術課国際学術第 1 係、管理局教育施設部助成課法規係、大臣官房総務課審議班、大臣官房総務課審議班専門職員、大臣官房総務課審議班審議第三係長、大臣官房総務課審議班審議第二係長、初等中等教育局小学校教育課学校管理係長、三重県教育委員会指導課長、大臣官房人事課補佐、初等中等教育局中学校課補佐、初等中等教育局高等学校課補佐、大臣官房総務課副長（（兼）能率専門官）、助成局地方課教育行政企画官、生涯学習局学習情報課長、初等中等教育局小学校課長、体育局学校健康教育課長、体育局体育課長、大臣官房総務課長、大臣官房審議官（初等中等教育局担当）、大臣官房付（兼）内閣官房審議官（内閣官房内政審議室教育改革国民会議担当室長）、文化庁次長、生涯学習政策局長、初等中等教育局長、文部科学事務次官、などを歴任された。

全 20 回にわたるヒアリングでは、ライフヒストリーその他、国際学術交流、高校急増対策、放送大学、外国人教員任用法、遺伝子組み換え実験基準、国際人権規約、学校図書館、校内暴力、高校の急減・急増対策、臨時教育審議会、自然教室、定時制・通信制教育、JET プログラム、色覚異常、上海列車事故、リクルート事件、教育長の任命承認制、教員の政治的行為、教員海外派遣・洋上研修、生涯学習審議会、学習情報のネットワーク化、学校週 5 日制、「国旗・国歌」問題、伝統文化教育推進事業、業者テスト、学校健康教育、学校栄養教諭、阪神・淡路大震災、プール事故、保健体育審議会、ワールドカップの招致、サッカーくじ、ナショナル・トレーニング・セ

ンター、酒鬼薔薇事件、教育課程審議会答申、学習指導要領の改訂、学力低下論争、国旗・国歌法案、チャーター・スクール、教育改革国民会議、21世紀教育新生プラン、文化芸術振興基本法、独立行政法人化と文化施設の建設、ゆとり教育批判と構造改革、与党教育基本法改正に関する協議会、放課後子供教室、国立大学の法人化、義務教育費国庫負担問題、総額裁量制、教員の多忙化、PISA ショック、認定こども園、学習指導要領の未履修問題、タウンミーティング、教育基本法の改正、教育三法の改正、教育再生会議、道徳の教科化、学力調査の公表、教育振興基本計画、北京オリンピック等の政策について貴重な証言を得た。この他、文部省関係者のキャリア・パターンに関する証言を得た。

5. 主な発表論文等 〔図書〕(計3件)

荒井英治郎編、信州大学学術研究院総合人間科学系、『戦後教育行政通知文書写綴目録』、2018年、総ページ216頁

荒井英治郎編、信州大学学術研究院総合人間科学系、『臨時教育審議会関係資料目録』、2018年、総ページ78頁

荒井英治郎編、信州大学学術研究院総合人間科学系、『教育政策オーラル・ヒストリー 銭谷眞美(元文部科学事務次官)』、2018年、総ページ310頁

6. 研究組織

(1)研究代表者

荒井 英治郎 (ARAI, Eijiro)

信州大学・学術研究院総合人間科学系・准教授

研究者番号：60548006

(2)研究分担者

なし

(3)連携研究者

辻村 貴洋 (TSUJIMURA, Takahiro)

上越教育大学・学校教育研究科・准教授

研究者番号：10546790

雪丸 武彦 (YUKIMARU, Takehiko)

大分大学・教育学研究科・准教授

研究者番号：60614930

岡 敬一郎 (OKA, Keiichiro)

秀明大学・学校教師学部・准教授

研究者番号：90449968

植竹 丘 (UETAKE, Takashi)

共栄大学・教育学部・講師

研究者番号：90635244